

建設水道委員会

市の都市建設部（土木、都市基盤、下水道他）、水道事業、まちづくりプロジェクト推進室の市街地再開発事業に関する事項に対応する委員会です。

◎竹内邦彦 ○森岡和雄
小栗興治、川端恵美子、倉持照憲
武本淑男、田中宣夫、米井知博

今期定例会において、建設水道委員会に付託された議案七件、報告一件を審査した。

議案第三十号については、市街地再開発費とまちづくり交付金の用途についてで、市街地再開発費の委託料、防災関連の調査内容はという質問に、アルネ津山の地域防災施設は県北の広域避難施設として活用できるかどうかを調査するものである。



林田の工事現場

具体的には千人程度の避難施設を考へており、調査し避難施設マニュアルを策定するとの答弁があった。

次にまちづくり交付金の用途について質したところ、バスステーションの導入は見直し検討中であり、六億円余りの交付金を道路新設改良事業費と洋学資料館建設事業に、用途変更して使用するとの答弁があった。し

かし、この変更は国の最終決定が未だ得られていないということとで、委員より手順や順序を踏まずして、なし崩し的に交付金を消化するのはいかがなものかと疑問の声が上がった。さらに、この手法について厳しい指摘があり、これらの見直しには議会と相談・協議するとの答弁もあった。

その他、この議案については、国土調査費、街路樹剪定等委託料、河川総務費の津川温泉水質調査費等について質疑がなされたが、採決の結果、全員一致で原案のとおり可決と決した。

次に水道の所管に属する事項について、議案第三十六号は一般会計からの現金の繰り入れを無くし、起債を百%充当するための歳入の財源組み替えであり、適切、妥当と認め全員一致で原案のと

おり可決と決した。

次に当局からの報告事項として、七月十九日の集中豪雨による災害は、公共土木施設三十九件、被害額が約一億七千万円であること。また、毎年恒例の城西まるごと博物館フェアが十月一日に、城東むかし町は十一月初めに開催するとの報告があった。

次に水道の所管に属する事項として、本年度より簡易水道事業が市長から水道事業管理者へ事務委任されたため、簡易水道料金の納付方法を変更することについて報告を受けた。なお、その他に委員より下水道工事に関連し、供用開始から三年以内の下水道接続を負担に感じている市民が多く、現実に未接続家庭もあるため状況を考慮し負担にならない対応をしていただきたい。加えて住民への説明会には供用開始までの流れを分かりやすくする工夫をお願いしたいという要望があった。